

果樹カメムシ類の飛来に注意！！（飛騨地域）

クサギカメムシの誘殺数が、高山市国府町に設置した予察灯において平年同様に7月6半旬に急増しました（図1）。現在（8月1半旬）の誘殺数は、平年よりも若干多い程度ですが、1日50頭以上誘殺されている日もあり、誘殺ピークは8月中旬くらいまで継続すると思われます。

今後も夜温の高い日も予想され、特に台風の通過後など、果樹カメムシ類が突発的に果樹園へ大量に飛来する可能性があります。山際等被害にあいやすい場所を見回り、大量に飛来を確認した場合は、速やかに防除を実施してください。

なお、飛騨地域における優占種はクサギカメムシですが、チャバネアオカメムシは7月下旬から平年よりも多く誘殺されており、8月1半旬の誘殺数は、平年の約4倍となっています（図2）。

現在、モモの収穫最盛期となっていますので、農薬散布にあたっては使用前日数及び飛散防止には十分に注意して実施ください。

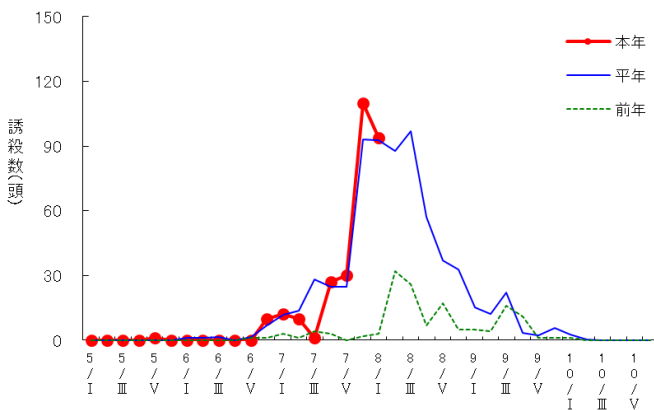


図1 予察灯におけるクサギカメムシの誘殺数
（高山市国府町）

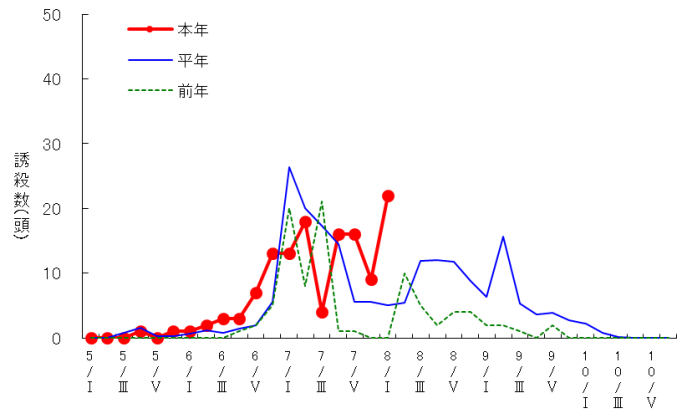


図2 予察灯におけるチャバネアオカメムシの誘殺数
（高山市国府町）

- ・農薬の使用にあたっては、最新の登録内容を確認し、適正に使用してください。
農薬登録情報提供システム
<https://pesticide.maff.go.jp/>
- ・当所のホームページに発生予察情報、病害虫調査データなどを掲載していますのでご活用ください。
岐阜県病害虫防除所
<https://www.pref.gifu.lg.jp/soshiki/24321/>